

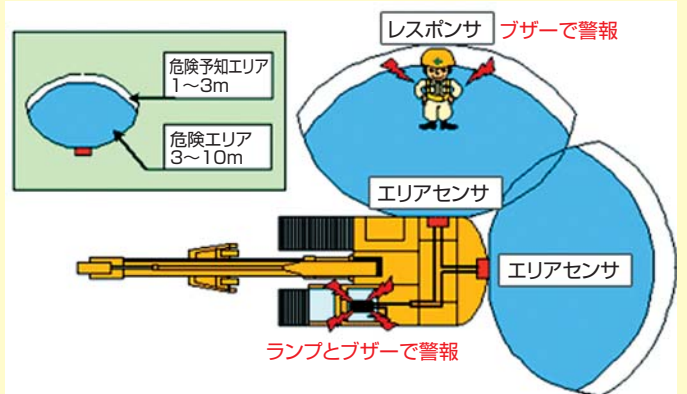
危険作業エリア警報システム『トラポン太』

■土木・建築現場で使用する重機の危険作業エリアに作業員が接近した場合、オペレーター及び作業員双方に警報で危険を促し事故を未然に防止する安全補助システムです。

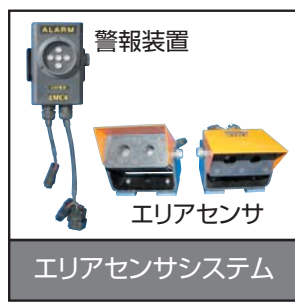


- 仕様構成品●
- 警報装置×1台
 - エリアセンサ×2台
 - センサケーブル×3本
 - 電源ケーブル×1本
 - レスポンス×n着

- 重機車両の死角エリアを超音波センサでカバー。センサは信頼性の高いトランスポンダ方式を採用。
- 危険作業エリア侵入を重機オペレーターと作業員双方に直接通報。
- 電源はDC24V・12Vシガーライターソケットに対応。警報装置及びセンサはマグネット仕様で簡易取付・取外しが可能。



- 危険エリア:3m、4m、5m、6m、8m、10mの中から選択する。
(エリア内で運転者と作業員の両方に警報する)
- 危険予知エリア:1m、2m、3mの中から選択する。
(エリア内の作業員に対してのみ警報する)



- エリアセンサ
レスポンスからの超音波応答信号を受信し、電気信号に変換して警報装置に送るユニット
- 警報装置
超音波信号を制御し、レスポンスの検出や距離計測を行う。危険エリア内に作業員が侵入すると警報を発する。



- 超音波応答センサ
車両に設置したエリアセンサからの超音波信号に対して応答信号を送信する為のセンサ。5個のセンサが反射布に取り付けてあります。
- 応答器
Vチョッキ正面裏ポケット内に装着されています。使用電源は単4アルカリ乾電池2本で、電池寿命は気温20℃の状況下で約2週間です。

- 監視エリアの幅
距離5mの所で中心角が約180°
(エリアセンサを2台使用)

*本商品は安全補助器具であり安全を保証するものではありません。